

令和4年度
グループホーム 竹梅小路
事業報告書

令和4年度 グループホーム竹梅小路 事業報告書

(1) 基本方針

一人一人を大切に 和を大切に

(運営方針)

- ① ご利用者お一人お一人に寄り添い、その人らしい過ごし方で、日々、笑顔で暮らせる支援をします。
- ② 職員一人一人が竹梅小路というチームの一員であることを自覚し、和を大切にお互い尊重し、切磋琢磨する事で職員の質の向上を目指します。
- ③ 地域の方と積極的に関わるように企画を計画し、竹梅小路からどんどん地域に出ていく施設を目指します。

(重点目標)

- ① 入所前にはご本人の意向やご家族の意向を聞き取り、苑での生活でご本人の過ごしやすい環境が提供できるように支援しています。自室でテレビを見たい方・新聞を毎日読みたい方・ご自分の携帯で連絡を取りたい方・1人で過ごす時間が欲しい方・皆とお話したい方などご本人の意向や今までの生活で欠かせない事をお聞きし支援しています。また、ご家族にも今までの生活リズムやご本人のこだわり、ご家族との関係性をお聞きし、苑での生活をして頂いています。ご本人の身体機能や既往歴や現病歴に関しても確認を行い、職員と情報共有を行い、ご利用者の体調管理に努めました。1人1人のできる事・できない事を見極め、日々の申し送りで話し合いを行い、職員が同じ認識で支援ができるように努めました。
- ② 身体機能の維持が出来るように、日々の暮らしの中でのリハビリに努めました。竹梅小路では、体操や歌・ことわざ・九九の計算・口腔体操を毎朝行うようにしています。午後には、体を使ったレクリエーション、風船バレーやサッカーゲーム、トランプや黒ひげゲームを行い、自然と体を動かしたり、笑いが出るレクリエーションを提供しています。職員も一緒に笑ったり、体を動かしたりすることで、一緒に楽しむ事をモットーにしています。行事のレクリエーションでは、1階と2階が対抗する形ではありますが、お手玉回しや雪合戦ゲームなど、「やるぞ!!」という気持ちを持って頂くようなゲームも考えています。日々の生活では、食後のお盆を拭い

て頂いたり、洗濯物を畳んで頂いたり、モップをして頂くなど、ご本人ができる事をして頂いています。また、竹梅小路では、安心した生活を続けて頂くために、ヒヤリハットの気づきを多く持てるよう、毎月職員会で振り返り職員で情報を共有しています。ご利用者の筋力が低下した際は、立ち上がりの際ふらつきが多くなります。「ヒヤッ」としたことや「ハッ」としたことを集め、ご利用者の状態を把握し、体操やレクリエーションで筋力維持ができる運動を増やしたり、介助方法を検討しています。

新規の申し込みがあった方は、速やかに対応し、よりよい関係の構築ができるように努めています。申込で待たれている方にも、定期的に連絡し状態を把握しています。自宅で介護をされているご家族もいらっしゃいます。お話をすることで「困った時は連絡をさせて下さい」と言われたり、今の思いのお話もして頂けるようになりました。引き続き、定期的な連絡を行い、申込の方の状態把握やご家族の思いを確認し、竹梅での生活ができる環境作りをしていきます。

- ③ 気軽に相談できる窓口になれるように、コロナ感染対策を講じながら運営推進会議を5回実施致しました。運営推進会議では、コロナ禍での施設の対応や面会についての話が多く出てきました。今後は、認知症介護に携わる事業所として、認知症ケアについてや地域との防災について発信していきます。不安ごとや相談が気軽に出来る雰囲気作りも行います。

ご家族には、毎月担当の職員がご利用者の様子をお手紙に書き、様子を伝えたり、写真を送ったりしました。また、電話での連絡を行う際も、日頃の様子を伝えながら、連絡を行っています。令和4年度はコロナ禍であり、窓越し面会しかできなかったため、ご利用者の様子をより詳しくお伝えできるように心がけました。クリスマス会では、ご家族からのご利用者へ向けてのプレゼントや手紙をお願いし、家族との絆を大切にできるような取り組みを行いました。

(2) 利用者に対するサービス

● 食事

「温かい物は温かいうちに、冷たいものは冷たいままで」を大切に、食事を提供しています。対面キッチンでもありますので、匂いや音も大切にして食事を楽しんで頂いています。また、毎月行われている給食会議では、要望を伝えて食事の事を皆で考え、季節の食材やメニューを取り入れて目でも楽しめる食事を提供しています。個々では、ご利用者の

食事形態に合わせて食事を提供させて頂き、安心してお食事ができるようにしています。

● 排泄

排泄チェックシートを活用しながら、トイレへの声掛けや誘導を行っています。ご自分から最初は「トイレ」と言われない方でも、トイレ誘導後に再度「トイレ」と言われ、排泄があることもあります。認知症の方では、トイレを忘れてしまう方、排尿の仕方を忘れてしまう方がいらっしゃいます。定期的な声掛けを行う事で、トイレでの排泄に繋がるように支援しています。また、ご自分からトイレに行かれる方でも、片づけが出来ない方もいらっしゃいます。さりげない対応を心がけています。排便のコントロールも排泄チェック表を活用しながら、看護師と連携をとり下剤や腹部マッサージ、運動、水分摂取で調整を行っています。掃除や消毒も毎日行い、汚染時にはその都度掃除や消毒を行っています。

● 入浴

1人ずつの入浴を行っております。1対1になりますので、職員とご利用者が日頃フロアではお話出来ない事もお話してくれています。竹梅小路では、リフト浴と普通浴があります。ご利用者の身体状況に応じて実施しています。退院時はリフト浴であった方が普通浴に入れるようになった事例もあります。入浴時には、皮膚の状態観察を行い、異常があればすぐに看護師に連絡とり対応を行っています。入浴後の水分補給もしっかり摂って頂くように心がけています。

● 健康管理

毎日のバイタル測定・食事摂取量・水分摂取量・体調の変化の把握、毎月の体重測定を行う事で、異常の早期発見に努めました。健康状態に異常がある時は、看護師と連携し、必要時には早期受診を行いました。ご家族への連絡も行い早めの対応を心がけています。コロナ禍でもあり、朝・15時のバイタル測定を引き続き行っています。令和4年度は、苑内もコロナ感染がありましたが、利用者の状態観察、毎日のバイタル測定を行い、重症化された方はいらっしゃらず、皆さん、元気に苑での生活を続けられています。年1回の健康診断や予防接種も行っています。また、季節に留意した温度・湿度の調整や毎日の換気を行い健康管理に気をつけました。

● 機能訓練

日常生活の中での訓練を大切にしています。転倒の危険性がある方でも、一緒に歩く事で、筋力の維持に努めています。また、歩くことが億劫な方は、トイレ誘導後に廊下を歩いています。ご自分で歩行訓練される方に対しては、声掛けを行い、やる気ができるように心がけています。集団では、レクリエーションを行っています。体操の際は、上肢や下肢を使う体操を職員が考えて毎日行っています。お口の体操や歌、ことわざ、反対言葉、九九の計算を毎日行う事で、自然と考える事や体を動かせるようにしています。また、転倒をするから、座って頂くという考えではなく、歩ける環境作りや筋力低下にならない運動を考えて支援をしています。

● 行事

行事では、ご利用者に季節感を味わって頂くように、季節に合わせた行事を行っています。初詣は、近くの神社に初詣に行きました。お花見ドライブや端午の節句、夏祭り、納涼祭、敬老会、運動会、クリスマス会等一緒に季節を楽しむ行事を行いました。クリスマス会では、ご家族からのプレゼントをお渡しし、写真を撮ってご家族に渡しました。とても喜ばれるご家族もおられました。気候が良い時は、外に出て歌を歌ったり、お話して過ごして頂きました。毎月の誕生日会では、職員からのメッセージやおやつ作りを行いました。おはぎやフルーツサンド、お汁粉など手作りの時は、ご利用者の皆さんの笑顔が人一倍あるように感じました。一緒におやつ作りをする際は、途中で食べられる方もいたり、笑いのあるひと時を過ごしています。今後も、ご利用者の笑顔が多くみられる行事を取り入れていきます。

● ボランティアの受け入れ

感染予防の為、今年度も受け入れできませんでした。来年度は、感染予防を講じながら、ボランティアの受け入れも行いたいと思います。

● 防火・防災訓練

年に2回、10月と3月に苑内での防災訓練を行いました。職員のみでの防災訓練でしたが、実際行う事で問題点も出ており、解決に向けて職員で話し合う事ができました。3月は座学になりましたが、消火器の使い方や苑ではどのように逃げるかを一緒に考えることができました。法人では、防災につ

いての BCP の作成に力を入れました。地域の方との防災訓練は出来ていません。来年度は、地域の方との防災訓練にも力を入れていきたいと思いません。

● 職員研修

内部研修では、年間計画に沿って担当者を決め、資料作成を行い、職員全員の勉強会を実施しています。勉強会後は、自己学習レポートを提出し、日々のケアに活かせるように努めています。外部研修では、防犯や口腔ケアの研修を受け、職員全体で共有をしました。来年度も各職員が積極的に内部研修、外部研修に参加し、職員全体のレベルアップを図りたいと思いません。来年度は、接遇にも力を入れていきたいと思っております。

(3) その他の重要な取り組み

① 新型コロナウイルス感染症予防及びまん延防止対策

1 ケア 1 手洗い、定期的な換気、苑内の掃除や消毒等施設内の清潔保持に務めました。日頃より、職員・ご利用者の体温やバイタル測定を行い、体調変化に早く気づくように行いました。また、ワクチン接種や市から配布された抗原キットを活用し、予防と早期発見に努めました。職員も家族がコロナ感染になった時や濃厚接触者になった時の情報共有を行い、早めの対応を行いました。

② ハラスメント対策

ハラスメントでは、種類や内容の研修を行いました。ハラスメントの種類や内容を知ることで、職員間でお互いを認め合う関係性作りに心がけました。また、相談窓口もしっかり伝える事で話が出来る環境があることも職員全員に周知できました。

③ 地域における公益的な活動

コロナ禍であり、地域への発信が少なかったです。今後は、認知症介護を携わる事業所として、認知症の病気についてご家族、地域の方への発信を行います。

④ 介護職員等処遇改善加算への取り組み

仕事と生活が両立できて、職員が働きやすい環境作りに努めました。小

さな子供さんがいる職員には、夜勤ができる日を聞き対応ができるように配慮を行いました。休みについても、毎月職員から聞き、対応をしています。ストレス、悩み、不安からくる小さな変化に気づける職員関係、休暇が取りやすい環境作りに努めました。内部研修を行い、スキルアップにつながるように努めました。

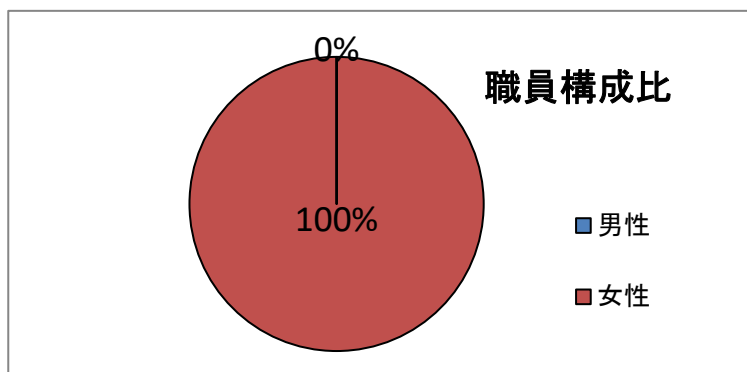


1. 事業所

① 概要

事業所名	グループホーム竹梅小路		
事業所種別	(介護予防)認知症対応型共同生活介護		
事業所住所	愛媛県西条市本町48番		
管理者職名	管理者 岡本 裕子		
職員数	男性	女性	総数
	0	16	16

(令和5年3月31日現在)

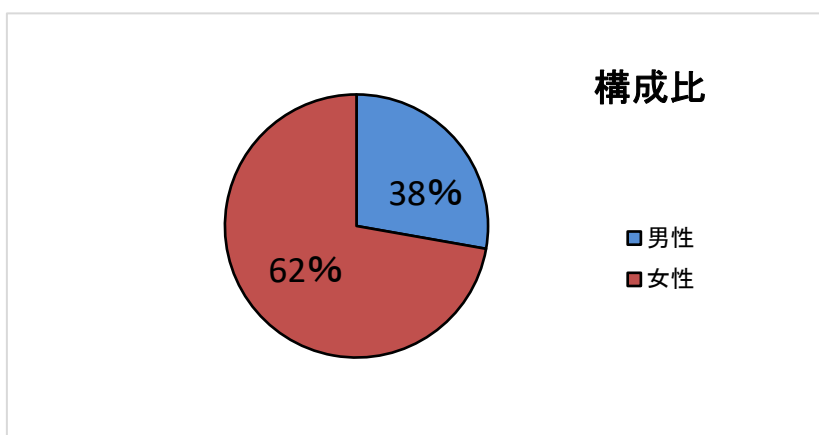


②職員紹介

職員16名の内訳としては、看護師資格者3名・介護福祉士4名・介護職員初任者研修修了者2名・介護ヘルパー2級修了者2名・介護支援専門員1名・認知症実務者研修終了者2名と、介護の専門職が揃っている職場となります。それぞれ持ち味や特技を生かし、頑張っております。職員の年齢層は、比較的高い方だとは思いますが、それを強みとして、利用者の方との昔話に花が咲いたり、懐メロが得意としたりと、温かい家庭の雰囲気と一緒に生活しております。技能実習生は、4名です。利用者の支援に努めています。

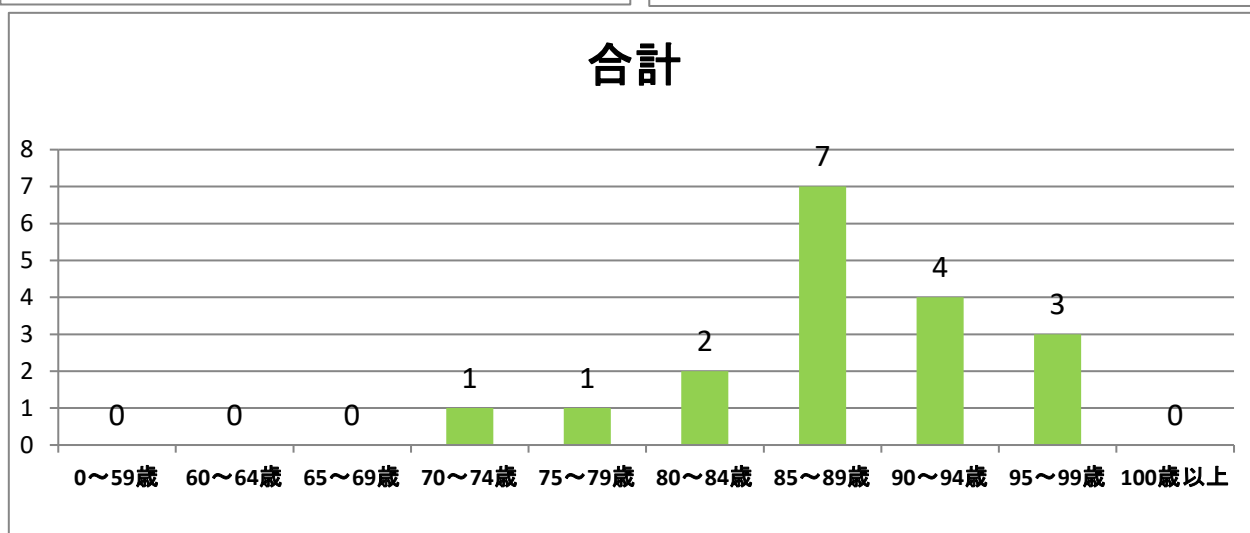
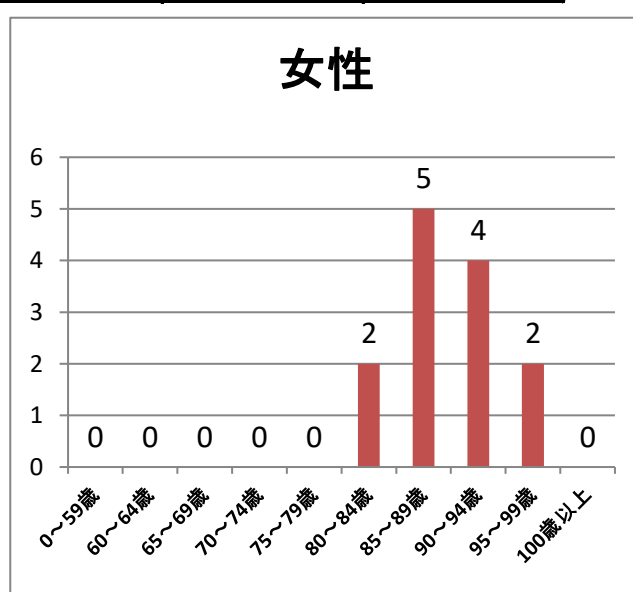
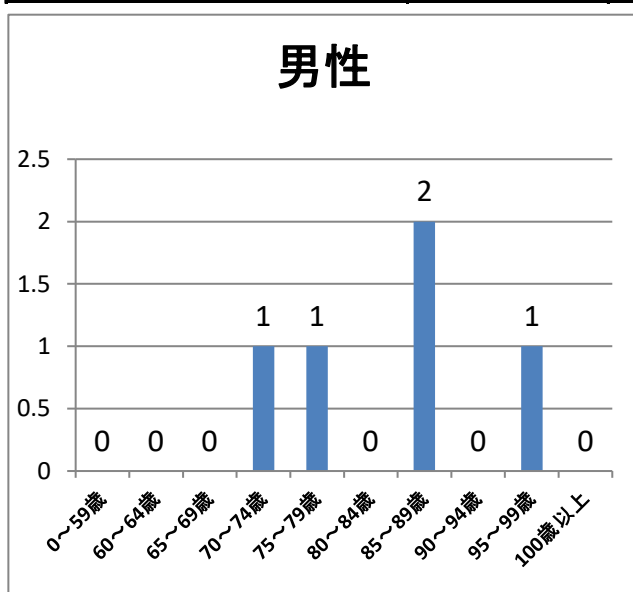
2. 定員及び現在人員(令和5年3月31日現在)

定員(名)	現在人員(名)	性別	
		男性	女性
18	18	5	13



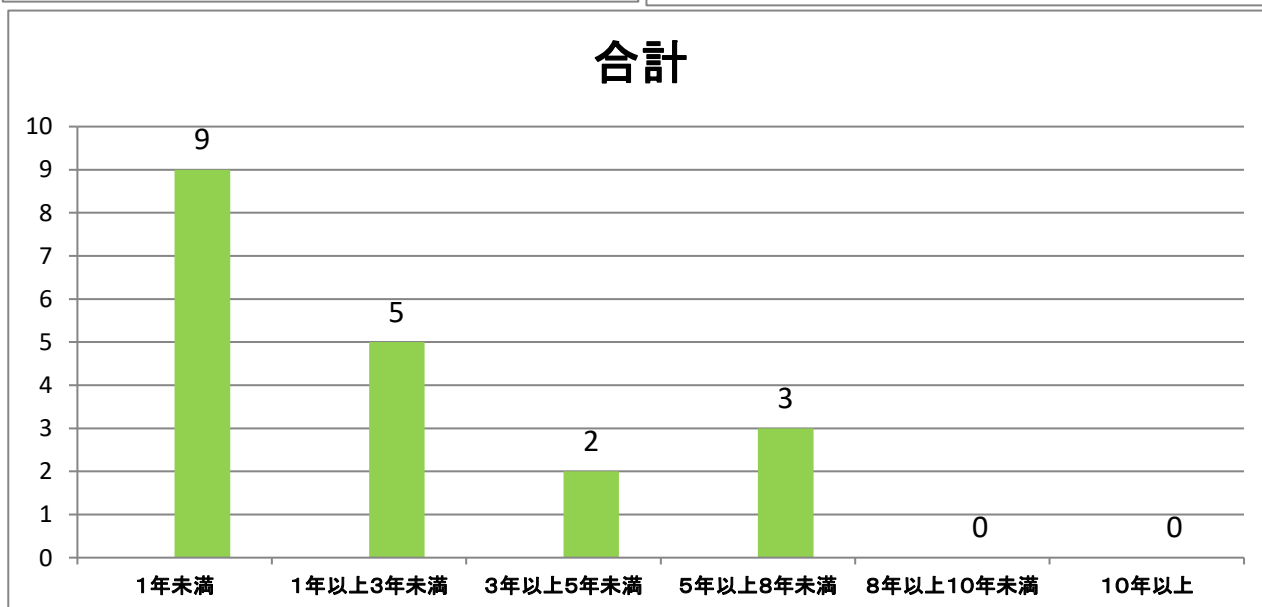
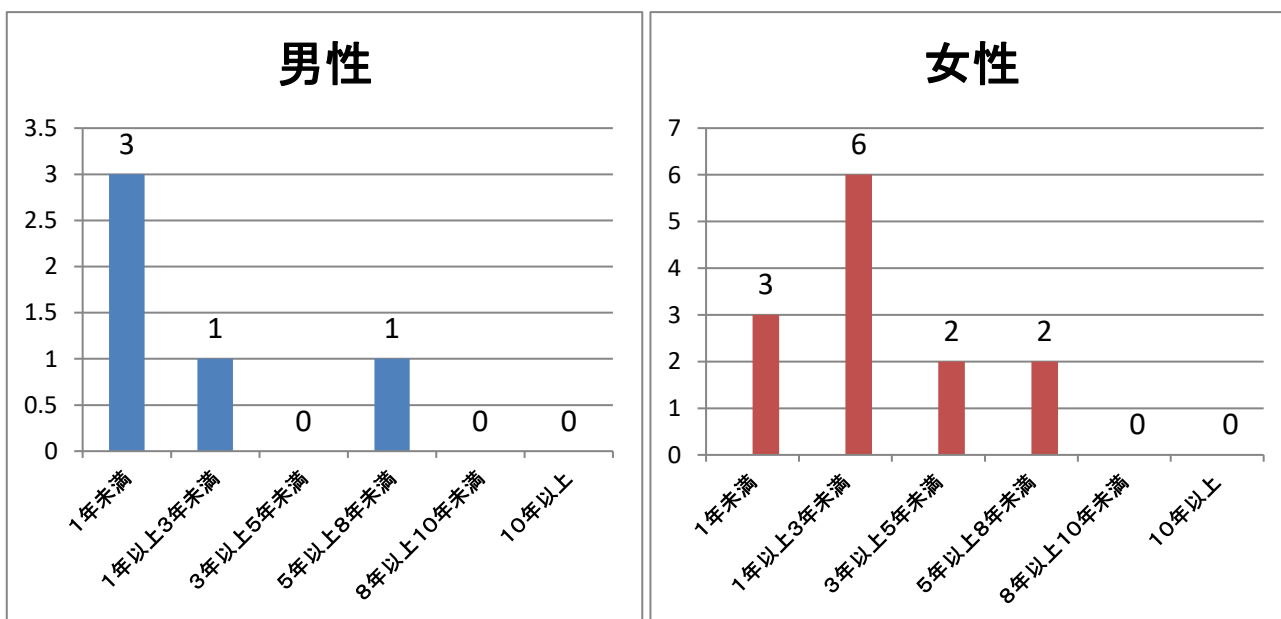
3. 年齢別人員

	男性(名)	女性(名)	合計人数と構成比	
			人数(名)	構成比(%)
0～59歳	0	0	0	0%
60～64歳	0	0	0	0%
65～69歳	0	0	0	0%
70～74歳	1	0	1	6%
75～79歳	1	0	1	5.56%
80～84歳	0	2	2	11.11%
85～89歳	2	5	7	38.89%
90～94歳	0	4	4	22.22%
95～99歳	1	2	3	16.67%
100歳以上	0	0	0	0.00%
合計	5	13	18	100%
	最高年齢	最低年齢	平均年齢	男女平均年齢
男性	95	74	84	87.5
女性	96	82	88.85	



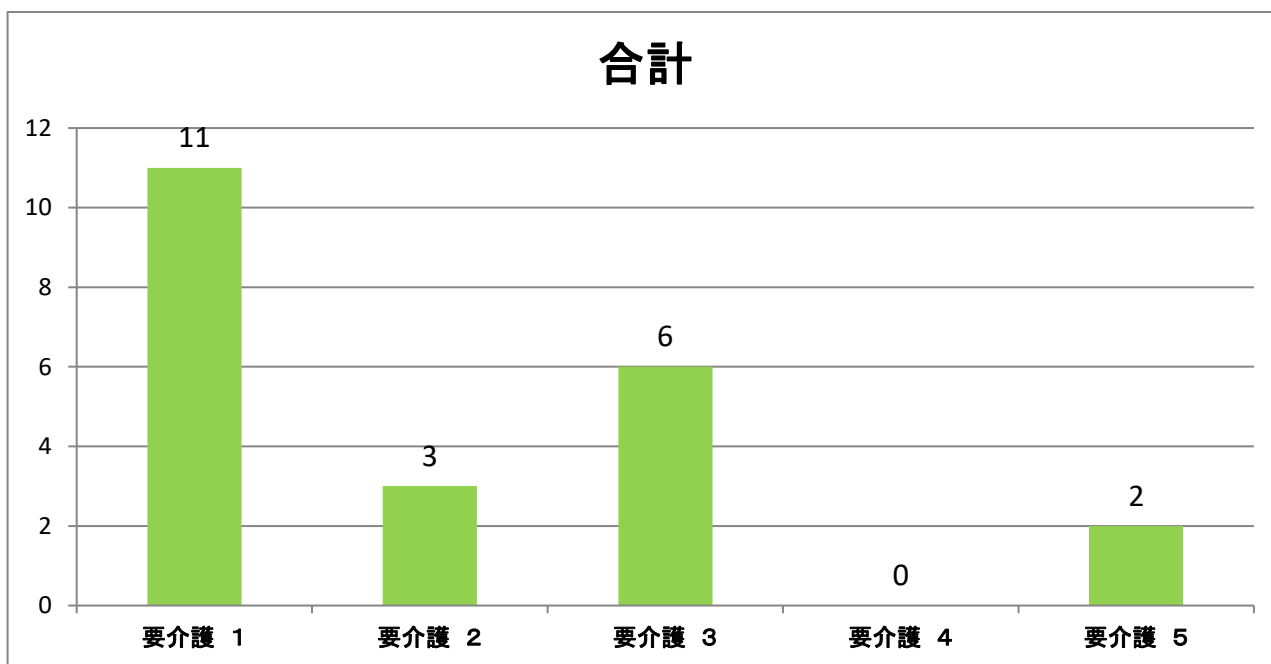
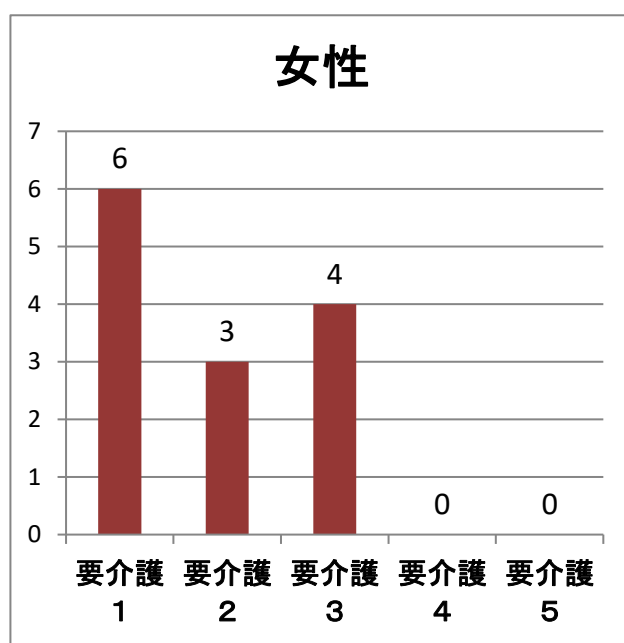
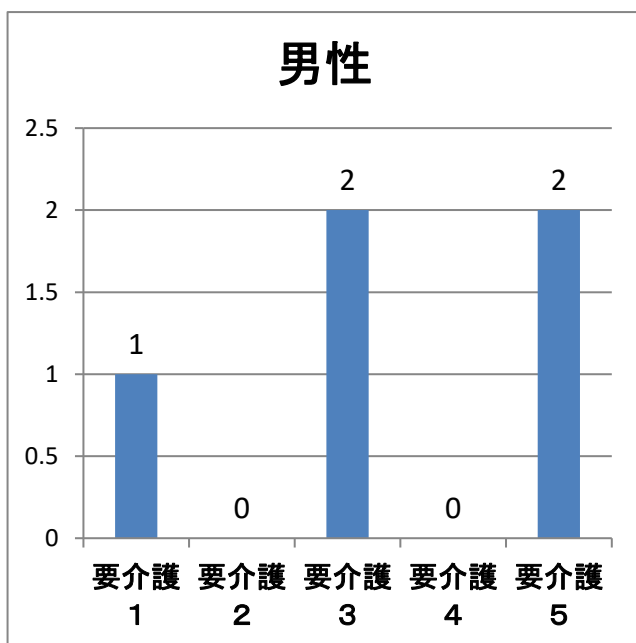
4. 入居期間別人員

	男性(名)	女性(名)	合計(名)	構成比(%)
1年未満	3	3	9	47.37%
1年以上3年未満	1	6	5	26.32%
3年以上5年未満	0	2	2	10.53%
5年以上8年未満	1	2	3	15.79%
8年以上10年未満	0	0	0	0%
10年以上	0	0	0	0.00%
合計	5	13	19	100%
平均入居期間	2年	1年3ヵ月	全体	2年



5. 平均介護度別人員

	男性(名)	女性(名)	合計	
			人数(名)	構成比(%)
要介護 1	1	6	11	61.11%
要介護 2	0	3	3	16.67%
要介護 3	2	4	6	33.33%
要介護 4	0	0	0	0.00%
要介護 5	2	0	2	11.11%
合計	5	13	18	100%
平均介護度	1	2.33	全体	2.11



6. 面会状況(令和4年4月1日 ~ 令和5年3月31日)

総数	30人
1か月平均	2.5人/月
最高(1人あたり)	5回/年
最低(1人あたり)	0回/年
年間1人平均	2.8回
1か月1人平均	0.2回

※コロナ感染予防の為、年間通して、基本面会はお断りしており、どうしてもの方に対しては、ガラス越しで対応しています。

7. 研修実施状況

【内部研修】

実施月	研修内容	研修講師	出席者数(名)
4月	危険予知にトレーニングについて	介護職員	12
5月	ビジネスマナーについて(介護現場での話し方・ハラスメント)	介護職員	13
6月	感染症対策と感染症BCPについて	看護職員	13
7月	身体拘束について～スピーチロックについて～	介護職員	13
8月	虐待について～不適切ケアについて。虐待に繋がる行為の改善策～	介護職員	14
9月	グループホームに関わる介護保険法について(記録と加算について)	介護職員	14
10月	防災、防災BCPについて	介護職員	16
11月	非言語コミュニケーションについて	介護職員	16
12月	感染症対策と感染症BCPについて	看護職員	16
1月	虐待について～不適切なケアとは。介護職員が虐待を起こしやすい原因や施設側の取り組みとは～	介護職員	14
2月	身体拘束について	介護職員	12
3月	ご家族との関りについて～介護職員がご家族と信頼関係を築くには～	介護職員	14

【外部研修】

実施月	研修種類	研修内容	出席者
10月	講義	福祉施設等における防犯にかかる安全の確保に	介護職員
12月	講義	口腔ケア講習	介護職員

8. 行事・クラブ活動及びボランティア受入れ実施状況表

【行事・クラブ活動】

実施月	指導援助者	内容	参加者数(名)
4月	施設職員	お花見	16
4月	施設職員	お楽しみ会(模倣喫茶)	18
5月	施設職員	端午の節句 お楽しみ会	18
6月	施設職員	カラオケ大会・おやつバイキング	17
6月	施設職員	誕生会・父の日	18
7月	施設職員	七夕祭り	16
8月	施設職員	納涼祭(盆踊り 水風船釣り)	18
8月	施設職員	カラオケ大会・かき氷	18
9月	施設職員	敬老会・誕生日会	18
10月	施設職員	運動会・誕生日会	18
11月	施設職員	紅葉狩り・誕生日会	18
12月	施設職員	クリスマス会・誕生日会	18
1月	施設職員	苑内初詣・鏡開き	18
2月	施設職員	節分・誕生日会	18
3月	施設職員	ひな祭り・誕生日会	18

【地域交流・ボランティア受入れ状況】

実施月	団体名	内容	参加者数(名)

9. 苦情状況

【苦情状況】

日付	法人との関係	内容
令和4年度		特になし